

1. 挨拶 一会報第19号に寄せてー

小野寺融

年が改まってすぐ、米国の武力侵攻そしてその国の大統領を拉致したという報道に接した。改めて自由とか民主主義、国際法等の脆さを実感した。世界の歴史は20世紀初頭まで、力の支配がまかり通り軍隊の力が強い国が支配していたので、そんなに驚くことではないのだろう。今の21世紀は権威主義国や独裁国家、民族主義国家等が行うことで、21世紀の自由民主主義の先導国と思っていた米国が、行ったことに驚きと共に憤りを覚える。個人に帰する考え方として公序良俗、利他とかという言葉が何と空しいことか。社会の守るべき規範とは何か？守らなくても差支えが無いのか？所属している体制組織に支配されるのは通常ことなので、それに従った考え方が育まれて行くのは仕方がないことなのかもしれない。国内外全問わず社会全体で予期しうる不条理な出来事が続いている。大統領、首相、知事、市長、社長、部長・・・反省を含めて言えば、持てる権力の大きさは違うものの、その根底にあるのが、権力を握った個人が利己中心の考え方による欲求を満たすために持った力を実行することにあるのではないかと感じる。その度に義憤やら私憤を感じるものだ、しかしながら理不尽な行動はその組織の中で修正できる社会になって行って欲しい。ラジオ、テレビ、新聞位が情報源だった頃と比べて、真偽不明の情報含めて氾濫状態で即座に全世界に広まってしまう現在である。実況中継まがいの情報が蔓延しているにもかかわらず、実行している者が反応して行動を規範に則って修正してくれればと、望むことしかできないのは歯がゆいばかりである。

2. 今年度の事業について

1) 忘年会の開催

日時 2025年12月12日(金)

13:30~15:00

参加者 小野寺、山田、水戸谷、対馬
沼田、深澤、熊谷、千種、
佐藤、伊澤 (10名)

場所 盛岡市中の橋通り 直利庵

17:30 ~ 19:30



12/12(金)直利庵で懇親会(忘年会)が開かれました。忙しい年末にも拘らず都合をつけていただき10名(会員数20名)の参加となりました。活発な会話が盛り上がり賑やかな宴会になりました。平成29年の発足から今年で8年。昔を思い起こしてINS、産官学での交わりから入会のきっかけに至る物語を肴に賑やかに進行しました。まずは懇親

会等の機会を増やし会員相互の深まりを築いてゆくこと。これが会発足の初期目的になっていたということでもありました。この密な会話から事業の内容が決まり活発化する元になると提言されました。

2) 臨時役員会の開催

日時 2025年12月23日(火) 10:30 ~ 11:30

場所 盛岡南イオン 3F フードコート

出席者 小野寺、沼田、水戸谷、対馬、志田 (山田欠席)

忘年会の時の提言を踏まえ、懇親会の開催を増やすことへの具体的な対応を議論

決議事項 総会含め年間4回の開催とする

5月20日(水) 春の会 総会・講演会・懇親会含 15時頃～ 北ホテル

8月26日(水) 夏の懇親会 15時頃～ 場所未定

10月28日(水) 秋の懇親会 15時頃～ 場所未定

1月27日(水) 冬の懇親会 15時頃～ 場所未定

詳細は今後詰めるが、直近の祭事等の情報も勘案して決めることとする

基本はランチ等軽食での懇親会とするが、アルコールが入る場合もある

役員会の開催予定

2月25日(水) 10:30～11:30 南イオン3F フードコート (総会対応)

4月22日(水) 10:30～11:30 南イオン3F フードコート (総会準備)

3. 会員の移動

退会会員 なし

入会会員 なし

4. コラム 『遠野 早池峯神社』

志田 満

早池峰山(はやちねさん)は、北上山地にある標高1917mで最高峰の山である。日本百名山、新日本百名山等に選定されている。また遠野地方では、六角牛山、石上山と共に「遠野三山」と呼ばれる。早池峰山の頂上は宮古、遠野、花巻の境界となっている。そして、それぞれの市に早池峰神社が存在していて、「早池峰山」を霊峰として祀っている事が特徴である。山頂には奥宮があり、早池峰山への登山口は、東西南北の四ヶ所に存在する。そして、それぞれの地が里宮として機能しており、それ故同名の「早池峰神社」が四つ建立されている。北の登山口・宮古市門馬には元新山大権現、西の登山口・花巻市大迫町には元池上院妙泉寺、東の登山口・宮古市江繋には元新山堂、そして南の登山口・遠野市附馬牛町には元持福院妙泉寺である。有名なのは花巻市大迫の早池峰神社である。社務所もおかれていて、早池峰神楽は全国的にも有名である。また、遠野の神社は「早池峯」と書き、「みね」の漢字が異なる。「峰」と



【早池峰山】



【早池峯神社山門】

「峯」で使い分けているようであるが、理由はよくわかっていないようだ。ところで、遠野の早池峯神社は、昨今ザシキワラシの隠れたパワースポットとして名を知られつつある。今回はこの遠野早池峯神社を訪問して、ザシキワラシの息吹を感じてきた。まずは、遠野早池峯神社までの道のりだが、釜石道遠野 IC で下車して、国道 283 号線に出て、遠野市内方面へ、そのあと国道 340 号にでて、カップ湖、伝承館方面へ、その後県道 160 号線を福泉寺、遠野ふるさと村方面へ、そのままふるさと村を通り越して進むと看板がでてくる。看板に従い、右折して山道をしばらく行くと遠野早池峯神社が見えてくる。結構走ったような気がする。駐車場に車を停めていざ境内へ。平日だったこともあり我々の他にはもう 1 組しかいなかった。山門をくぐって境内に入った時に、まず感じたのは静寂さであった。虫の声や鳥の声も全くなく、もちろん人のざわめきや人の営みにまつわる雑踏音も全く聞こえなかった。まさに結界を破って異界に入り込んだ気分させられた。



【遠野早池峯神社本殿】

さて、早池峯神社の歴史だが、通説では、大同元年（八〇六年）、来内村（現・遠野市上郷町）の猟師・藤蔵が山中で十一面観音像に遭遇したことをきっかけに、山頂に奥宮を建立したとされる。また、花巻市大迫の早池峰神社の由来では、藤蔵と同時に花巻側から藤原兵部卿成房が早池峰山に登り狩猟をしていたところ、額に金の星がある白鹿が二人の前に現れ、各々が鹿を追い、同時に早池峰山の山頂に辿り着いたとされている。姿を消した鹿は神様の導きだと感銘を受けた二人は、話し合いの結果、山頂にお宮を建立することにしたという。その後、八〇七年に花巻の方に早池峰神社が創建されたと伝わっている。十一面観音と白鹿という差異があるが、話の大筋は共通しており、基になる奥宮の歴史は史実と言って良さそうだ。その後、藤蔵は普賢坊と名を改め、現在の早池峯神社の場所に新山宮を建立した。斎衡年中（八五四～八五七）、慈覚大師が奥州巡歴の際に当地に宮寺を建立し、山頂の霊池に因んで妙泉寺と名づけ、新山宮は神宮とした。しかし、明治時代の廃仏毀釈の影響で早池峰神社と改称したとされる。早池峰神社の御祭神は瀬織津姫之命（せおりつひめのみこと）である。水の女神様で、山から流れる溪流によって罪を大海原に運んでくれる神様とされている。それぞれの登り口にある社に瀬織津姫之命が鎮まっております、山を守っているが、明治までは女人禁制だったようだ。瀬織津姫（せおりつひめ）は、神社伝承などで存在が知られ、瀬織津比咩・瀬織津比売・瀬織津媛とも表記されるが、古事記・日本書紀等には記されないが、結構格式の高い神様であったようだ。次にこの神社がザシキワラシのパワースポットたる所以についてである。この遠野早池峯神社では毎年 4 月 29 日に「座敷わらし祈願祭」を開催している。この祭りは昭和 63 年に始



【座敷わらし祈願祭の様子】

まった、比較的新しい祭りである。その趣旨は年に一度の祈願祭で、ザシキワラシに見立てた人形を希望者に授けていて、神様から人形に新しい魂を込める神事を行うというもで、過去に人形を戴いた参拝者は、魂を入れ替えるということになる。すなわち、ザシキワラシに感謝の意を表す儀式という事になろうか。また瀬織津姫之命がザシキワラシを抱いているという、母性を表しているイメージが共感を呼んだものとも推定される。そしてこの祭りが開催されるようになったきっかけは、昭和58年に新潟で事業を営むある男性が早池峯神社を参拝した。その帰路で、ザシキワラシが車に乗って一緒に付いて来てしまったと言う。その後、男性の事業は繁盛したことで、早池峯神社に多額の寄付をしたといわれており、それを契機として祭りがはじまったとされている。この人形については、現在作成者がおらず、受け付けていないとのことで、残念である。以前は申し込んでから配布される順番が回ってくるまでに五～十年待ちと言われていた時期もあったようだ。いつの日か人形の作り手が現れて、この人形の配布が再開される事を祈るばかりである。岩手でザシキワラシといえば、金田一温泉の緑風荘や、盛岡市の菅原別館や遠野の民宿わらべ等が有名であるが、遠野には伝承館や遠野ふるさと村や、南部曲り屋の千葉家など、ザシキワラシの雰囲気や時間を時間汁場所があちこちに点在している。ザシキワラシ感謝祭をとり行う、この遠野早池峯神社もパワースポットして脚光を浴びていることも十分にうなずけるわけである。筆者もその恩恵の一部でも受けたいと思って訪れたが、残念ながらザシキワラシを直接見ることは出来なかったが、異界情緒たっぷりな雰囲気を満喫できた気がする。次は4月の感謝祭に訪れたいものである。

さて最後に、遠野グルメについて紹介しよう。それはジンギスカンである、以前訪れたことがある、名店「じんぎすかん あんべ」がつい最近新装開店したという話を聞いたので、早速訪れてみた。以前は昔ながらの食堂といった感じで、座ってから食事を提供されるときには新聞紙を何枚か渡されて、カバン等の保護用に渡されたように思う。新装された店舗では、最新



【新装されたあんべ】

換気設備で油の飛び散りもなく十分に食事を堪能できた。筆者が注文したのは、あんべ食べ比べセット定食である。後ろの客がビールで盛り上がっていたが、小生は運転があるのでノンアルコールビールで気分を出した次第である。

この「あんべ」は遠野ジンギスカン文化発祥の店と言われていて、美味しさのための3つの約束を設けていて、秘伝のたれ、独自の手切り、品質を保ったチルド配送、という事である。特に秘伝のたれは、70年以上前に初代が試行錯誤の上に作り上げたもので、三代にわたって、大切に受け継がれた味との事だ。また、遠野ジンギスカンといえば、ブリキのバケツで焼くと



【食べ比べセット定食】

いう事が有名であるが、道の駅遠野風の丘の食堂などで提供してくれるようだ。是非みなさんも遠野で異界の雰囲気を感じた後で、ジンギスカンでパワーを付けてみてはいかがでしょう？

参考資料

座敷わらし祈願祭/岩手県遠野市-珍大寺道場

<https://chindera.com/tono-zasikiwarasi/tono-zasikiwarasi.html>

不吉の兆しか？本当の「ザシキワラシ」の姿に迫る！ 遠野時間

<https://tonojikan.jp/feature/what-is-zashiki-warashi/>

大人の神社旅 HP 座敷わらしを見てしまうかも!? ミステリアスな「姫神」が祀られた岩手・遠野の「早池峯神社」を訪ねる夏の「ひんやり旅」

<https://otonano-shumatsu.com/articles/486482>

東郷和真の異界を訪ねる 【遠野早池峯神社】

https://note.com/togo_kwaidan/n/nac69db1e936c

5. 新たな会員の募集について

新規会員の紹介をお願い致します。会員増は会員の皆様の人脈だよりです。

本会報を使っても構いませんので、お知り合いの方へのお声かけお願いいたします。

連絡先 事務局 志田満

携帯 090-2791-1803 e-mail mitshida.9201@gmail.com

6. 編集後記 「年のはじめ」

年の初めの大きなイベントの一つに、豊洲市場での初競りでの「一番まぐろ」の話題である。今年は大間産の本マグロがなんと5億円を超える額で落札されたというのだ。さらには北海道産のムラサキウニが3千万円で落札され、100万円のうに井が限定で提供されるらしい。物価高を嘆いている我々庶民とは対極の世界の話で、全くうらやましい限りである。我が家では、元旦早々の積雪で、事始めが除雪作業になってしまった。暖冬という噂は何処に行ったのだろうか？また大寒の20日も雪かき作業であった。今大寒波到来という事で各地で暴風雪警報が出されるようだ。それにしても今年の雪は異常に多い気がする。腰をやられないように慎重に雪かき作業に励むしかないか？ 2月以降は高温が続くとの予報だが・・・ (志田)